

子どもの権利についての話をしました



豊島区子どもの権利に関する条例の冊子を1人1冊ずつ配り、園長先生より1ページずつめくりながら話を聞きました。まるで、小学生が道徳の授業を受けているかのような真剣なまなざしでした。



「どんな人も大切に守られて認められる存在なんだよ」と言われ「うん、うん」とうなづくきりん組の子どもたちでした。



「個性が尊重されること」という話では「男の子だから泣かないで」と言われことがある…というお友だちもいました。

家に帰ってからも、お家の人にもう一度読んでもらったというお友だちも多かったようです。

